



学校だより

山鳩



3月1日(日)「まちなか文化祭」(中央公民館)力強い演奏をする子どもたち。
三小の子どもたちの素晴らしさは、終了後の話を聞くまで真剣なところです。

熱い思いを込めて書く…

校長 小林 修

◆3学期は、授業日が52日と短いです。今日(3/20)で給食も終わり、来週の月曜(3/23)が終業式、火曜(3/24)が卒業式を残すだけになりました。一年間、三条小学校の教育活動をリードしてくれた6年生と別れの日が近づき、今、私は大きな淋しさに包まれています。18名、みんなとってもいい子どもです。

◇さて、家人は「あなた(私)の字(書)は、右肩上がりの癖字で好きでない。卒業証書はシルバー人材さんをお願いすれば…」と言いますが、私は「6年間小学校生活を頑張ってやり通した子どもたちに…ぜひ自分の手で書いた卒業証書を渡したい。」との思いで、校長になって、これまで勤務したすべての学校で卒業証書は自分で書いてきました。今年も3月になり数回の練習を経て、先週の土曜日(3/14)の午後に、卒業生18名一人ひとりとの2年間の思い出に浸り(担任の佐藤教諭の濃さから比べれば、私の関わりはわずかなものではありませんが…)ながら、証書を書き上げました。練習では「なかなか(の出来)じゃないか。」と思えたのですが、本番になると一人ひとりへの熱い思い?が文字に表れて、太く大きくなってしまいました。卒業生の皆さん、そして、保護者や家族の皆さん、卒業証書を見られて「おう、大きい名前(文字)らーこて」と思われましたら、私の皆さん(子どもさん)への「熱い思いだ」と思ってお許しください。

子どもたちが元気なわけは…

◆今冬はインフルエンザの流行で、市内の多くの小中学校でインフルエンザによる学級閉鎖がありました。しかし、三条小学校は元気いっぱいの3学期でした。子どもたちは日々の学校生活そのものが活力に満ちていますが、3月1日(日)の「まちなか文化祭」に、ふるさと運動クラブ(4~6年生)が短パン法被姿で大鼓演奏(上写真)を行い、お聞きいただいた皆さんを、特にまちなかに住む人々に元気を与えてくれました。素晴らしい子どもたちです。



【 3/9(月)から3日間、第三中学校の細井先生が「小中一貫教育」で、6年生に「数学？」の授業をしてくださいました。】



◇さて、この元気はどこから生まれるのでしょうか。三条小学校の築 60 年を経るレトロな校舎は、お世辞にも教育環境が良いというものではありません。特に、冬場の石油ストーブによる教室の暖房は厳しいものがあります。しかし、山田管理士の毎日遅い時間までの献身的な灯油供給や桜井教頭の毎朝 7 時に各教室のストーブ点火があり暖が取れ、その上に小林養護教諭の指導で、うがいや手洗いの励行等が徹底していることで風邪等が防げていますし、六田体育主任を中心に、全担任が年間を通しての運動習慣を指導していることも大きな要因です。◇さらに、近隣の学校に申し訳ないぐらい(まちなかの学校で放課後児童クラブの実施は三条小学校のみ)に、地域や保護者の皆さんが子どもたちに関わり、冬場も山鳩キッズ(放課後児童クラブ)でどんなに寒くても水曜の午後と土曜の午前は子どもたちと遊んでくださる(表面下写真)ことが、一番子どもたちの体を鍛えていると私は考えています。このことは、地域の皆さんの言葉を借りれば「私たちが子どもたちから元気をもらっているんです。」ですが…誠にありがたいことです。素晴らしい地域が学校を支えてくださっています。

ハグし、きゅっと抱きしめる…

◆さて、先日(3/16)、山鳩キッズのスタッフの桑原 理さん(元町)から下記のお手紙をいただきました。あんまり嬉しいので、桑原さんの了解を得ないまま、全文(原文のまま)載せちゃいます。(桑原さん、ごめんなさい。)

あと残すこと数日で卒業式を迎え、諸先生方も大変お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。先日、山鳩キッズにお世話になり、ほのぼの感動したお話が 2 件、心温かくなりました。

1. 終了時、六年生一同整列し“有り難うございました。”を大きな声で深々とおじぎをされ、思わず涙。一年生の時から接して来て、みんな大きく成長したなあと嬉しくなりました。
2. 最後にそっと私の所にやって来て、メッセージつきで生活科で育てた朝顔の種(自分の大切な宝物)をかわいい袋に入れて何も言わずに“これ”と差し出すではありませんか。一年生です。

… すたっふさんへ 山鳩とキッズがんばってください。さいとう りおより …というメッセージです。

私は、どうして良いやら判らないまま思わずハグし、きゅっと抱きしめてやると、子供からは大ばあちゃんに見えるらしく、黙ってされるままです。かわいいですね。これも学校、先生、親御さんの子供達に対する一生懸命が伝わって、すべての人に素直な心、思いやる心が育ち、つい私だけが一人占めしないで、お礼とお聞かせしたく、ペンをとりました。終わりの挨拶(11日)の時もスタッフで話して、ほのぼの温かい話で又頑張ろうね。と云い合い、来年も山鳩でお世話になります。有り難うございました。3月16日(月) 山鳩キッズスタッフ 桑原

◇感謝や礼儀、思いやり等の心の育みは、学校教育では限界があります。スタッフの皆さんのお陰で子どもたちによい心が育まれています。皆さん、桑原さんの全身から溢れ出るような素敵な笑顔を知っていますか。接する人すべてを明るい心にしてくださる素晴らしい方です。桑原さん、本当にありがとうございました。

「一味違ろぞ！」の今年の卒業式…

◆さらに、三条小学校の子どもが心も体もよいわけ(理由)は、校舎の環境が良いことも大きな要因だと私は考えます。校舎は 70 歳を越えた卒業生が使った時のままの教室や廊下です。60 年間、代々子どもたちが大切に使い、清掃を頑張ってきたためです。近年、児童数が減少しても全員で一生懸命に清掃をします。建てられた頃よりも重厚さを増していると思います。学校には多くの来客がありますが、「落ち着いた雰囲気を感じるいい学校ですね。」と、皆さん口々におっしゃってください。一人でも多くの人に、格子に張られた板がピカピカに輝く長い廊下を見て、歩いてほしいものです。三条小学校の良さに触れてほしいです。

◇さて、24 日の卒業式、今年はステージで行い、卒業生のメッセージがあります。保護者・地域の皆様の席を多数用意します。学校が、保護者・地域の皆さんと職員で、素晴らしい子どもを育てていることが再認識いただけるとと思います。私の自慢の 90 名の子どもたちが作り出す卒業式に、多くの皆さんからお越しいただきたいです。

家族全員で、わが子の門出を祝ってあげてください。よろしく願いをいたします。